



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 ランサーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4484 URL https://www.lancers.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 秋好 陽介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 CFO (氏名) 小沼 志緒 (TEL) 03(5774)6086
 定時株主総会開催予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年7月1日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,573	△4.9	75	—	80	—	111	—
2023年3月期	4,808	18.0	△249	—	△244	—	△238	—

(注) 包括利益 2024年3月期 111百万円(—%) 2023年3月期 △238百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	7.00	6.95	10.4	2.5	1.7
2023年3月期	△15.14	—	△22.2	△8.3	△5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,517	1,181	33.6	72.74
2023年3月期	3,073	957	31.1	60.64

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,181百万円 2023年3月期 957百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	316	△94	353	1,924
2023年3月期	△324	△298	317	1,348

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,036	10.1	100	32.6	110	36.4	92	△17.3	5.66

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 一社（社名）—、除外 2社（社名）ランサーズエージェンシー株式会社、
 株式会社ワークスタイルラボ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	16,245,228株	2023年3月期	15,783,503株
② 期末自己株式数	2024年3月期	37株	2023年3月期	37株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	15,882,992株	2023年3月期	15,761,389株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,530	87.6	49	—	68	—	177	—
2023年3月期	1,881	△19.8	△252	—	△208	—	△201	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	11.19		11.12					
2023年3月期	△12.76		—					

(注) 2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	3,586		1,281		35.7		78.87	
2023年3月期	2,544		990		38.9		62.74	

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,281百万円 2023年3月期 990百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、景気回復の兆しがみられた一方、海外での紛争や円安・物価高により金融市場の見通しは未だ不透明な状況が続いております。当社グループが事業展開しているインターネット関連市場は、技術革新や顧客ニーズの変化のスピードが非常に早いことが特徴です。特に、昨今リリースされた生成AIの台頭によって、文章作成や画像制作など一部のカテゴリを中心に個人顧客を中心としたニーズの変化が生じており、当該変化に柔軟に対応していく必要があります。また、フリーランス人口の増加を受けて市場での競争が激化しており、より付加価値の高いサービスの構築など十分な差別化がより一層求められるようになっております。その一方で、新型コロナウイルス感染症を契機に大きく変容した労働者の働き方は継続しております。2023年1月に当社グループが実施した「働き方調査2023」(注)によると、フリーランスの約4割、副業者の約6割が2020年以降に活動を開始しており、継続的に増加しております。また、企業側の人手不足の問題も引き続き課題となっている状況です。そうした状況下で、デジタルスキルを習得したフリーランスや副業人材の活躍がより一層期待されるとともに、企業側の外部人材の受け入れや多様な働き方ニーズへの対応が進み、人材の流動性が増していくことが予測され、今後更なる市場拡大が見込まれることと想定しております。

当社グループはこのような環境において「個のエンパワーメント」をミッション、「すべてのビジネスを『ランサーの力』で前進させる」、「誰もが自分らしく才能を発揮し、『誰かのプロ』になれる社会をつくる」をビジョンとして、マッチングプラットフォームを通じた双方への価値提供を強化してまいりました。オンライン上でクライアント(企業)とランサー(個人)を直接マッチングするサービスである「Lancers」、クライアントのエンジニア・デザイナー・ marketer等の求人ニーズに対応して、エージェントを介してフリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」と、同様の形でコンサルタントを紹介する「Professionals On Demand」を当社グループの主力サービスに位置付け、事業を拡大しております。

当連結会計年度においては、規律ある投資や生産性向上施策の浸透、2024年1月に実施した子会社である株式会社ワークスタイルラボの吸収合併などの構造改革を通じて、75,464千円の通期営業黒字を達成しました。事業については、組織体制を強化することで1人当たり売上総利益は増加し、併せて販管費の継続的な見直しにより、収益性を更に大きく改善しました。今後も生産性は維持・改善しつつ、多数のプロダクトアップデートを通じてユーザー体験を大きく改善することで利用ユーザー数・クライアント数の拡大を図ります。また、セールスやマーケティング等の成長投資を再開することで、事業成長の加速を図ってまいります。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は4,573,141千円(前年同期比4.9%減)となり、営業利益は75,464千円(前年同期は営業損失249,830千円)、経常利益は80,743千円(前年同期は経常損失244,304千円)、親会社株主に帰属する当期純利益は111,117千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失238,625千円)となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしていません。

(注)「働き方調査2023」は、当社グループが「Lancers」にランサー(受注者)として登録している個人(フリーランス)を対象に、2023年1月30日～2月5日までの期間に実施した調査であり、209名からの回答を得てまとめたものです。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して443,978千円増加し、3,517,496千円となりました。これは主に、流動資産において売掛金が81,982千円、無形固定資産においてソフトウェアが88,978千円減少したものの、流動資産において現金及び預金が582,135千円、投資その他の資産において繰延税金資産が69,447千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して219,738千円増加し、2,335,860千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が45,936千円、預り金が44,358千円、固定負債において長期借入金65,420千円減少したものの、固定負債において新株予約権付社債が300,000千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して224,240千円増加し、1,181,635千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が111,117千円増加し、さらに第三者割当による新株式発行並びに譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ52,953千円、また、新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,752千円増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ575,431千円増加し、1,924,211千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、316,495千円の収入（前年同期は324,589千円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益63,054千円、減価償却費104,686千円、売上債権の減少額81,982千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、94,974千円の支出（前年同期は298,645千円の支出）となりました。これは主に、ソフトウェア開発などにかかる投資支出が95,048千円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、353,910千円の収入（前年同期は317,740千円の収入）となりました。これは主に、新株予約権付社債の発行による収入が300,000千円、新株の発行による収入が99,999千円あったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は緩和され、経済活動の正常化が期待されたものの、円安や物価高により金融市場の見通しは未だ先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループが事業展開しているインターネット関連市場においては、昨今リリースされた生成AIの台頭によって、一部の発注カテゴリを中心に個人顧客を中心としたニーズの変化が生じており、当該変化に柔軟に対応していく必要があります。さらに、フリーランス人口の増加を受けて市場での競争が激化しており、より付加価値の高いサービスの構築など十分な差別化がより一層求められるようになっていきます。

当社グループでは「個のエンパワーメント」をミッションとして掲げ、引き続き当社グループ経由で取引される金額の総額である流通総額とクライアント及びランサーへ提供される付加価値を示す売上総利益の最大化を重視した経営を

行ってまいります。2025年3月期につきましては、マッチング事業に1本化した事業運営を継続し、経営効率・事業効率を維持・向上しつつ、顧客価値の再定義や対象顧客・市場の拡大などにより成長回復及び収益の拡大を目指してまいります。

以上により、次期連結会計年度（2025年3月期）の通期業績につきましては、売上高5,036百万円（前年同期比10.1%増）、売上総利益2,233百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益100百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益110百万円（前年同期比36.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益92百万円（前年同期比17.3%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,295,573	1,877,708
売掛金	532,585	450,602
仕掛品	1	—
前払費用	45,315	32,466
未収入金	297,158	286,976
その他	69,592	47,687
貸倒引当金	△24,068	△19,672
流動資産合計	2,216,157	2,675,769
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,595	23,595
減価償却累計額	△17,999	△20,276
建物（純額）	5,596	3,319
工具、器具及び備品	38,787	23,876
減価償却累計額	△37,949	△23,566
工具、器具及び備品（純額）	837	309
有形固定資産合計	6,433	3,629
無形固定資産		
ソフトウェア	395,893	306,915
ソフトウェア仮勘定	3,096	59,257
のれん	406,936	358,896
その他	401	356
無形固定資産合計	806,328	725,425
投資その他の資産		
敷金及び保証金	36,929	35,557
繰延税金資産	7,668	77,115
その他	0	0
投資その他の資産合計	44,598	112,673
固定資産合計	857,360	841,727
資産合計	3,073,518	3,517,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,912	299,976
1年内返済予定の長期借入金	55,290	67,080
未払金	374,994	380,695
未払費用	117,242	130,739
未払法人税等	4,349	41,930
未払消費税等	27,600	57,436
預り金	736,694	692,335
賞与引当金	79,488	65,026
その他	13,780	6,290
流動負債合計	1,755,352	1,741,510
固定負債		
新株予約権付社債	—	300,000
長期借入金	359,770	294,350
長期未払金	1,000	—
固定負債合計	360,770	594,350
負債合計	2,116,122	2,335,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,569	120,275
資本剰余金	1,782,753	1,839,458
利益剰余金	△889,215	△778,098
自己株式	△36	△36
株主資本合計	957,070	1,181,599
新株予約権	325	36
純資産合計	957,395	1,181,635
負債純資産合計	3,073,518	3,517,496

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,808,345	4,573,141
売上原価	2,538,330	2,375,792
売上総利益	2,270,015	2,197,348
販売費及び一般管理費	2,519,846	2,121,884
営業利益又は営業損失(△)	△249,830	75,464
営業外収益		
営業債務消滅益	5,024	4,882
助成金収入	743	2,950
その他	3,383	2,723
営業外収益合計	9,151	10,555
営業外費用		
支払利息	3,482	4,445
その他	143	831
営業外費用合計	3,625	5,276
経常利益又は経常損失(△)	△244,304	80,743
特別利益		
投資有価証券売却益	10,000	—
営業債務消滅益	—	36,932
特別利益合計	10,000	36,932
特別損失		
減損損失	—	17,630
構造改革費用	—	36,990
特別損失合計	—	54,620
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△234,304	63,054
法人税、住民税及び事業税	△4,991	21,384
法人税等調整額	9,313	△69,447
法人税等合計	4,321	△48,062
当期純利益又は当期純損失(△)	△238,625	111,117
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△238,625	111,117

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△238,625	111,117
包括利益	△238,625	111,117
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△238,625	111,117

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	59,934	1,779,118	△650,589	△36	1,188,427
当期変動額					
新株の発行	2,294	2,294			4,589
新株の発行（新株予約権の行使）	1,340	1,340			2,680
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△238,625		△238,625
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	3,634	3,634	△238,625	—	△231,356
当期末残高	63,569	1,782,753	△889,215	△36	957,070

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	1,188,427
当期変動額		
新株の発行		4,589
新株の発行（新株予約権の行使）		2,680
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）		△238,625
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	325	325
当期変動額合計	325	△231,031
当期末残高	325	957,395

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	63,569	1,782,753	△889,215	△36	957,070
当期変動額					
新株の発行	52,953	52,953			105,907
新株の発行(新株予約権の行使)	3,752	3,752			7,504
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			111,117		111,117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	56,705	56,705	111,117	—	224,528
当期末残高	120,275	1,839,458	△778,098	△36	1,181,599

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	325	957,395
当期変動額		
新株の発行		105,907
新株の発行(新株予約権の行使)		7,504
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		111,117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△288	△288
当期変動額合計	△288	224,240
当期末残高	36	1,181,635

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△234,304	63,054
減価償却費	73,017	104,686
減損損失	—	21,155
のれん償却額	43,376	48,040
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,536	△4,395
受取利息及び受取配当金	△10	△9
支払利息	3,482	4,445
新株予約権戻入益	—	△325
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,385	81,982
前払費用の増減額(△は増加)	6,458	18,755
未収入金の増減額(△は増加)	△15,418	10,182
買掛金の増減額(△は減少)	△5,938	△45,936
未払金の増減額(△は減少)	△42,526	9,416
未払費用の増減額(△は減少)	△44,201	13,497
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,390	29,836
預り金の増減額(△は減少)	△108,443	△44,358
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,920	△14,461
その他の資産の増減額(△は増加)	5,526	1,792
その他の負債の増減額(△は減少)	△43	11,310
小計	△296,866	308,668
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△3,482	△4,445
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△24,251	12,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△324,589	316,495
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△149,070	△95,048
投資有価証券の売却による収入	10,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△159,479	—
その他	△95	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,645	△94,974

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	330,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,940	△53,630
株式の発行による収入	—	99,999
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,680	7,504
新株予約権付社債の発行による収入	—	300,000
新株予約権の発行による収入	—	36
財務活動によるキャッシュ・フロー	317,740	353,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△305,494	575,431
現金及び現金同等物の期首残高	1,654,274	1,348,779
現金及び現金同等物の期末残高	1,348,779	1,924,211

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	60.64円	72.74円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△15.14円	7.00円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	6.95円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△238,625	111,117
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△238,625	111,117
普通株式の期中平均株式数(株)	15,761,389	15,882,992
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	17
(うち支払利息(税額相当額控除後)(千円))	—	(17)
普通株式増加数(株)	—	101,175
(うち新株予約権(株))	—	(3,819)
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	—	(97,356)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	新株予約権9種類 (株式の数 914,800株) なお、新株予約権の概要は「第 4 提出会社の状況 1 株式 等の状況(2)新株予約権等の 状況」に記載のとおりであり ます。	新株予約権7種類 (株式の数 746,100株) なお、新株予約権の概要は「第 4 提出会社の状況 1 株式 等の状況(2)新株予約権等の 状況」に記載のとおりであり ます。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)

純資産の部の合計額(千円)	957,395	1,181,635
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	325	36
(うち新株予約権)	(325)	(36)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	957,070	1,181,599
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	15,783,466	16,245,191

(重要な後発事象)

該当事項はありません。